

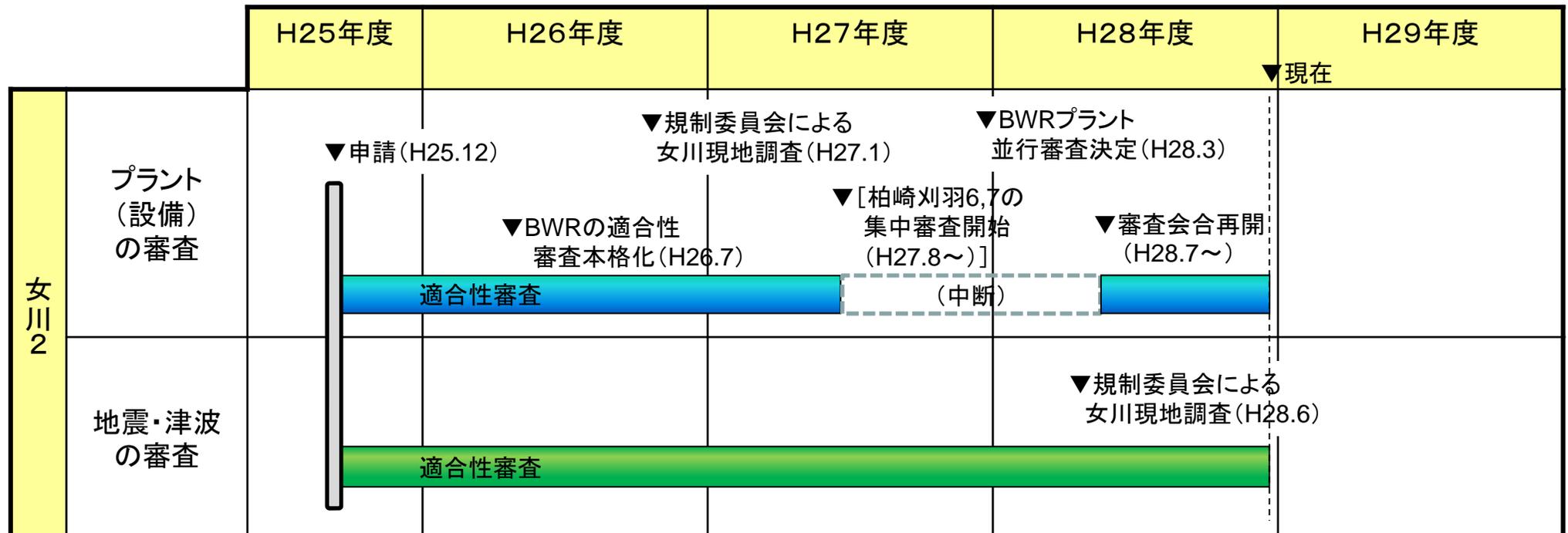
新規制基準適合性審査の状況について

< 関連報告 >

平成29年3月24日
東北電力株式会社

1. 女川2号機の適合性審査の状況

- ❑ 女川2号機は、平成25年12月の申請以降、審査会合は合計89回開催(平成29年3月23日現在)
- ❑ 「プラント(設備)の審査」は、平成27年8月以降、東京電力HD柏崎刈羽の集中審査を経て、現在はBWRプラント 4サイト(女川2, 柏崎刈羽6・7, 島根2, 浜岡4)が並行審査中
- ❑ 「地震・津波の審査」は、これまでに、主要な断層の地震動評価や基準津波ならびに火山影響評価で「概ね妥当な検討がなされている」との評価を受けており、現在、「基準地震動の策定」に係る最終的なコメント対応中
- ❑ なお、現在の審査状況を踏まえ、従来、「平成29年4月」としていた安全対策の工事完了目標時期を、「平成30年度後半」に見直した



2. 適合性審査の進捗状況(プラント関係)

* 朱書き部: 第10回安全性検討会時点(平成28年9月)からの進捗

主な審査対象項目			適合性審査		本検討会での説明状況	
			進捗※	対応状況		
設計基準対象施設	自然現象等	1.地震	・耐震設計方針	△	<ul style="list-style-type: none"> 基準地震動策定後, 影響を確認予定 建屋の地震応答解析モデルの妥当性について審査中 	今回説明
		2.津波	・耐津波設計方針	×	<ul style="list-style-type: none"> 基準地震動および基準津波を踏まえて, 影響を確認予定 	今後説明
		3.その他	・竜巻(影響評価, 対策)	△	<ul style="list-style-type: none"> 設計竜巻をF2(風速63m/s)からF3(風速92m/s)に変更し, 施設影響評価の考え方について整理し, 説明予定 	第2回
			・火山(対策)	×	<ul style="list-style-type: none"> 火山活動に対する防護について説明予定 	影響評価と併せて今後説明
			・外部火災 他	△	<ul style="list-style-type: none"> 防火帯の形状変更による防火帯幅と原子炉施設への影響を再評価し, 説明予定 	第7回, 8回, 10回
	4.内部火災		△	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器内の火災防護対策の妥当性について説明予定。また, 中央制御室床下の火災について早期感知と運転員による消火活動の成立性を説明予定 	第7回	
	5.内部溢水		△	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備に対する溢水防護対策を溢水評価(伝播経路等)に反映後, 説明予定 	第7回	
	6.外部電源		×	<ul style="list-style-type: none"> 外部電源の信頼性について説明予定 	今後説明	
	7.その他 (静的機器, 通信設備, モニタリング設備等)		△	<ul style="list-style-type: none"> 審査会合の指摘事項に対し回答予定 	第10回	
	重大事故等対処施設	8.重大事故対策	・確率論的リスク評価(PRA)	△	<ul style="list-style-type: none"> 基準地震動および基準津波を踏まえて, 影響を確認する予定 	第3回
・炉心損傷防止 (有効性評価含む)			△	<ul style="list-style-type: none"> 審査会合の指摘事項に対し回答予定 		
・格納容器破損防止 (有効性評価含む)			△	<ul style="list-style-type: none"> 熔融燃料-冷却材相互作用の緩和対策である格納容器破損前の格納容器下部への事前水張りの水位の適切性について, 説明予定 		
・使用済燃料プール等			△	<ul style="list-style-type: none"> 審査会合の指摘事項に対し回答予定 		
・放射性物質の拡散抑制			×	<ul style="list-style-type: none"> 環境への放射性物質の拡散抑制対策について説明予定 	今後説明	
9.事故対応の 基盤整備		・制御室	△	<ul style="list-style-type: none"> 審査会合の指摘事項に対し回答予定 	今後説明	
		・緊急時対策所	△	<ul style="list-style-type: none"> 3号機原子炉建屋内の設置から, 高台に新設する緊急時対策建屋に設置する方針に見直し説明予定 	今後説明	

※ ○:概ね審議済, △:審査対応中, ×:審査会合未実施 (H29.3.8原子力規制委員会資料を基に記載)

3. 適合性審査の進捗状況(地震・津波関係)

* 朱書き部: 第10回安全性検討会時点(平成28年9月)からの進捗

主な審査対象項目			適合性審査		本検討会での説明状況			
			進捗※	対応状況				
設計基準対象施設	自然現象等	1.地震	活断層評価	・敷地周辺の活断層評価	○	・ 海域活断層の追加海上音波探査結果及び陸域活断層の詳細評価結果について了承され、敷地周辺活断層評価のまとめ資料を説明	基準地震動策定後に説明	
				・敷地内の断層評価	△	・ 断層破碎部の追加性状調査結果等のデータ拡充について説明し、活動年代の評価に関するコメント等について審査中		
			地震動評価	各地震の評価	・敷地地盤の振動特性	○		・ 過去の地震観測記録によりデータ量を拡充した詳細分析結果を示し、敷地地盤が特異でないことを説明
					・プレート間地震	○		・ 3.11型地震(M9)について断層モデル手法を用いた検討に基づき、不確かさを保守的に考慮した検討結果(2ケース)を説明
					・海洋プレート内地震	○		・ 4.7型地震(M7.5)について不確かさを保守的に考慮した検討結果(3ケース)を説明
					・内陸地殻内地震	○		・ 海域のF-6断層～F-9断層および仙台湾の断層群による地震について説明。また、参考に仙台湾～石巻平野～北上盆地の断層の連動(192km)についても影響がないことを説明
					・震源を特定しない地震	○		・ 震源を特定しない地震(16地震)の地域性等を踏まえた検討結果を示し、留萌地震を考慮することを説明
		・基準地震動の策定	△		・ 各地震の評価結果を踏まえた再評価により、申請時(Ss-1, Ss-2)についてSs-2の評価を見直すとともに、新たに4つの地震動を追加し、審査中			
		2.津波	・基準津波	△	・ 3.11型、津波地震、アウターライズ地震について最新知見を反映して評価し、基準津波(敷地前面で23.1m)について了承され、砂移動評価を説明 ・ 基準津波の年超過確率に関するコメントについて審査中	説明時期調整中		
		3.その他	・火山(影響評価)	○	・ 鳴子火山(敷地から約60km)に関する追加調査結果も踏まえ、保守的な評価結果を説明	対策と併せて今後説明		
・基礎地盤の安定性評価	×		・ 基準地震動策定後に審査予定	今後説明				

※ ○:概ね審議済, △:審査対応中, ×:審査会合未実施 (H29.3.8原子力規制委員会資料を基に記載)